

### 若き後継者誕生

農家の後継者不足といわれる現代で、たのしい後継者が現れました。会見小学校6年生の吉持壮馬くん(田住)です。

きっかけは2年前、農事組合法人寺内農場の皆さんが田植えをしているときに、通りかかった吉持くんに声をかけたことでした。農業、特に農業機械に興味があった吉持くんはそのとき田植え機に乗せてもらって以来、寺内農場のお手伝いをするようになりました。

「寺内農場の人たちに教えてもらって、一緒に作業するのが楽しい」という吉持くん。寺内農場の内田雅史さんは「将来、南部町の農業を背負って立つ人材になってもらいたい」と今後に期待されていました。



5月24日 天萬地内の田んぼで

### 図書券を寄贈



西伯小学校長へ手渡されました

昭和42年4月に旧西伯町内の5校が統合して西伯小学校が誕生するまで天津地区にあり、多くの卒業生を輩出した「天津小学校」。その学校跡地に、「記念碑を建立したい」という卒業生たちの声から、「天津小学校記念碑建立委員会(森岡幹雄委員長)」が設立され、3月29日に記念碑が建立されました。記念碑建立に賛同した方から多くの寄付が集まったことから、5月25日、子どもたちのために役立てていただきたいと5万円分の図書券を西伯小学校へ寄贈されました。

### 手づくりの竹筒提灯

県内でも有数のほたるの名所となった金田川。今年も住民の皆さんによって竹筒提灯が飾られました。この竹筒提灯は、5月26日、住民の皆さんが集まって一つひとつ丁寧に手づくりされました。この日作った竹筒提灯には、会見小学校3・4年生と会見第二小学校の児童、金田子ども会の子どもの絵が貼られています。

金田川へと続く道をほかに照らす竹筒提灯は、訪れた人にも好評です。



心をこめて手づくりで

### グリコのカレーをロシアに



社長の手づくりカレーの試食

環日本海定期貨客船航路の就航を前に、ロシアでの日本食文化定着と鳥取県産品の販路拡大を図るため、鳥取県がロシアの極東レストラン・ホテル協会アノンス社の視察団11名を受け入れました。

6月3日には南部町の鳥取グリコ株式会社を訪問し、カレールウの工場を見学し、その後実際にカレーを試食しました。

ロシアにはカレーを食べる風習がないということで、初めて食べたという人がほとんどでしたが、「おいしい」「どっやって作るのか」「カレールウを使ってほかの料理は作れるか」など多くの質問をされていました。